

1. 活動の概要

5月25日(木)、松江市立鹿島東小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。体験活動は『奈良の大仏』。時間は2時限分でしたので、まず前半の1時間で①鹿島町の縄文時代～古墳時代の遺跡と歴史、②大仏の作られた奈良時代の概要と当時の出雲国や秋鹿郡・島根郡の様子について学習しました。

また、松江市北部の遺跡から出土した遺物(土器、石器、玉類)の実物を手に取って見て、地元の歴史や古代人を身近に感じることができました。

後半は、実物大の大仏パネルを組み立てることに重点を置きました。大仏は予想より早く、約17分ほどで完成しましたがズレなどの微調整を行い22分で完成しました。その後、全員で体育館のギャラリーに登って完成した大仏を見下ろしました。

なれているはずの私たちも含め、やはり大きさにはびっくりです。そこからは写真撮影タイムで、完成した大仏の手のひらにクラス全員が並んだり、思い思いの位置取りで記念写真を撮りました。

さて、片付けも重要な仕事ですので、6年生全員で順序良く片づけることができました。

2. 活動の様子

1)鹿島町の縄文～古墳時代の遺跡/奈良の大仏と奈良時代の鹿島



奈良時代の鹿島の様子を学びます



鹿島の遺跡の出土品を見ました

2)奈良の大仏 組み立て



大仏組み立て中



組み立て完成！ 手のひらに乗り記念撮影

3. 子ども塾を終えて

1)児童の皆さんから…

- ・鹿島にはたくさんの遺跡があることが解った。(4)
- ・昔の土器に触れたことが印象に残った
- ・大仏は想像していたよりも実際にはずっと大きいことがわかりました。(4)
- ・同じ大きさの土器でも、素焼き土器と須恵器では重さが違うのに驚いた
- ・勾玉はどうやって作ったのかな？(2)
- ・石室の中に入りたい
- ・鹿島の遺跡を詳しく知りたいです(3)
- ・江戸時代のことを詳しく知りたい
- ・遺跡の種類や土器の重さの違いを知りたい
- ・古浦の人骨を見てみたい
- ・本物の大仏に触ってみたい
- ・実際に土器を作りたい
- ・島根県には遺跡が何箇所あるのか
- ・弥生時代などの暮らしを体験してみたいです

2)担任の先生から…

- ・身近な地域の歴史に触れられたことや、教科書で学んだことを地域の遺跡や出土品、大仏パネル作りをつうじて、体験を通して学ぶことができ学習を深めることができました。

3)古代文化センターから

大仏パネルはそれなりに重く数も多いので、子どもたちが楽しく協力して大仏を作り上げた点、また片付けも手順を守って実施されとても見事でした。12名という少人数ですが非常にまとまりの良いクラスであることが実感できました。質問の時間はやや恥ずかしい様子でしたが活動は全員積極的に取り組まれていたことが印象的でした。